



点検報告をする両指導隊長と鈴木町長

交通・防犯指導隊 今年の決意新たに

町交通指導隊（緑川猛雄隊長・隊員7人）と町防犯指導隊（土谷典雄隊長・隊員8人）の初点検は1月8日、まき×まきホールで行われました。

鈴木重男町長は「両指導隊には、今年1年交通事故と犯罪のない町の実現に向けさらなる尽力をお願いしたい」と訓示し、岩手警察署の佐々木秀行副署長は「昨年葛巻町は死亡事故ゼロを達成しました。引き続き犯罪や事故のない町を目指して力を合わせていきましょう」とあいさつ。隊員らは決意を新たにしていました。

楽しみ方伝える1日 小中学生スノボ教室

1月15日、平庭高原スキー場で町スキー協会主催の小中学生スノーボード教室が開催され、12人が参加しました。

児童生徒は3つのクラスに分かれ、町スキー協会員が指導しました。初級クラスではボードの置き方や安全な転び方など、スノーボードを楽しむための基礎を教わっていました。中級クラスに参加した榎木成虎くん（葛巻小2年）は「つま先で滑ることが苦手だったけれど、できるようになって良かった。またやりたい」と、スノーボードの魅力を感じた様子でした。



初級クラスでのサイドスリップの練習

町総体後期競技白熱 クツブで盛り上がる

町民総合体育大会後期競技は1月15日、町社会体育館で開催され、昨年度から新種目に採用されたクツブが行われました。

ルールを確認しながらの試合だった昨年とは違い、経験を積んだ選手たちは戦略を練ったり難しい角度からも積極的にクツブを狙うなど、レベルアップしたプレーを見せました。また女子の部では、リーグ戦で3チームが同点となり、先にキングクツブを倒したチームが勝利するサドンデスにもつれ込むなど、実力が拮抗した試合は白熱して盛り上がっていました。



サドンデスでキングクツブを狙う選手



鈴木町長から補助金を受け取る皆さん

住宅の取得を支援 3組に補助金交付

12月22日、くずま〜るで住宅取得支援事業補助金交付式が行われ、3人が出席しました。

鈴木重男町長は「町では、皆さんが快適に暮らせるようさまざまな支援や補助を行っており、特に子育て世代や若い世代への支援に力を入れています。このような制度があることを皆さんからも紹介してほしい」とあいさつ。補助金を受け取った山村繁和さん（栗山）は「購入した家をリフォームして、暖かく快適に過ごしたいと思います」と、これからの暮らしを思い描いていました。

新年交賀会開催 町の発展に連携

町民憲章推進協議会（中村哲雄会長）が主催する令和5年葛巻町新年交賀会は1月4日、グリーンテージで行われ、町の関係機関や団体の代表者など64人が出席しました。

中村会長は「次の時代を見据えて関係機関が情報共有し、今年も町の発展に一層連携していきましょう」とあいさつし、参加者はまちづくりへの思いを一つにしていました。アトラクションでは葛巻コールアローの皆さんがお正月にちなんだ歌で交賀会に花を添えたほか、恒例の「ワイン開き」で新年を祝いました。



葛巻コールアローの歌声に聴き入る参加者

丁寧な指導で上達 小学生スキー教室

1月7日と8日、NPO法人葛巻町スポーツ協会主催の小学生スキー教室が平庭高原スキー場で開催され、児童21人が参加しました。

初級クラスでは、経験の浅い低学年の児童に、町スキー協会員がスキーを履いて歩く練習から丁寧に指導しました。児童は、斜面でスキー板をハの字に広げることや、滑る時には下を見ずに前を向くことなど指導者のアドバイスを懸命に実践。転びながらもみるみると上達し、ゲレンデを楽しそうに滑っていました。



スキー板をハの字にして滑る練習